

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 共栄セキュリティーサービス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7058 URL <https://www.kyoei-ss.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 我妻 文男  
問合せ先責任者(役職名) 経営企画室長 (氏名) 坂本 歩 (TEL) 03-3511-7780  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,151	12.0	101	△34.5	136	△17.8	87	△45.7
2023年3月期第1四半期	1,920	△2.3	155	△14.1	165	△13.7	162	28.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 87百万円(△45.6%) 2023年3月期第1四半期 161百万円(25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	60.72	60.35
2023年3月期第1四半期	111.89	111.21

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,740	4,543	79.1
2023年3月期	5,845	4,585	78.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,543百万円 2023年3月期 4,585百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	9,000	12.3	626	28.1	644	21.2	482	6.9	332.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,506,500株	2023年3月期	1,506,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	57,404株	2023年3月期	57,404株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,449,096株	2023年3月期1Q	1,448,796株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、賃上げなどの動きから雇用・所得環境が改善した一方で、物価高などの難局に見舞われました。足元では、賃金上昇やコストの適切な価格転嫁・マークアップの確保の不確実性など、先行きは不透明な状況が続いております。

国内警備業界は、2023年6月30日に警察庁が発表した「令和4年における警備業の概況」によると、市場規模は約3兆5,250億円(2.1%増)、警備業者数は10,524業者(1.6%増)と拡大した一方、警備員数は58万2千人(1.3%減)と減少いたしました。引き続き、安定した需要がある一方で、2023年6月現在の保安職業従事者の有効求人倍率は6.04倍と大変厳しい採用環境は、警備業界の事業活動に影響を及ぼしております。

このような経営環境の下、当社グループは、長期視点での経営方針として「売上高800億円、社員数2万人」を目指し、成長のための取り組みを続けてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前期比230百万円増加し、2,151百万円となりました。この増収は、前期の新型コロナウイルス関連の臨時警備の剥落があったものの、主に合建警備保障(株)及び(株)ダイトーセキュリティーの買収、重要防護施設等の施設警備の受注積み増し、また厳しい採用環境下での新卒採用45名による稼働人員増加の影響であります。売上高の契約別の内訳については、後述の「契約別営業概況」をご参照ください。

営業利益は、前期比53百万円減少して101百万円となりました。この減益は、前述の買収及び受注積み増しにともなう収益があったものの、主に前述の新型コロナウイルス関連の臨時警備の剥落、採用活動強化にともなう募集費の増加、新入社員の研修費や賃上げの影響、前述の買収にともなうのれん償却費の増加などによるものであります。

経常利益は、前期に比べ29百万円減少し、136百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に比べ74百万円減少し、87百万円となりました。この減収は、主に前期に日本セキュリティーサービス(株)の買収にともなう負ののれん発生益があったことによるものであります。

## 契約別営業概況

当社グループは、警備事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりますが、契約別の売上高については、以下の表をご参照ください。

	前第1四半期連結累計期間 (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (百万円)
常駐契約売上高	1,559	1,952
臨時契約売上高	360	199
顧客との契約から生じる収益	1,920	2,151

※ 契約期間が1年以上を常駐契約、1年未満を臨時契約として分類しております。

但し、常駐契約に付随した臨時契約は常駐契約に含むなど、実態に即した分類としております。

## 事業戦略

当社グループは、今後の成長に向けて、DX化及び品質管理による収益性改善、M&Aに取り組んでおります。DX化については、警備隊と基幹システムをシームレスにつなぎ、効率化による収益性改善に取り組んでおります。また、今後のM&Aを見据え、スケールメリットによる収益性改善を実現できる体制構築を進めております。

品質管理については、グループ横断の品質管理部門を事業の中心に位置付け、業務品質向上による競争力強化を推進いたします。また、“One Person, 10 License”というキーワードを掲げて社員の資格取得を推進し、付加価値と社員エンゲージメントの向上によって、採用力強化と定率率強化による収益性改善に取り組んでおります。

M&Aについては、前述のとおり国内警備業者は1万社超える環境下で、案件数も増加傾向であります。警備会社や周辺領域(ビルメンテナンス業等)に対する出資・買収などを継続的に実施することにより、人員数とエリア補完体制を拡大し、規模の強さによる料金改定の実現、スケールメリットによる利益創出に取り組み、ステークホルダーである社員と株主の皆様への利益還元につなげていく方針であります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ105百万円(1.8%)減少し、5,740百万円となりました。

### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間の流動資産は、前連結会計年度末に比べ330百万円(7.2%)減少し、4,258百万円となりました。この減少は、募集費の増加により前払費用の増加などがあったものの、主に配当金の支払いにより現金及び預金が378百万円減少したことによるものであります。

### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間の固定資産は、前連結会計年度末に比べ225百万円(17.9%)増加し、1,481百万円となりました。この増加は、事務所移転による敷金差入保証金の減少などがあったものの、主に投資その他の資産が234百万円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間の流動負債及び固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ62百万円(5.0%)減少し、1,197百万円となりました。

### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間の流動負債は、前連結会計年度末に比べ32百万円(3.0%)減少し、1,075百万円となりました。この減少は、買収による未払消費税の増加などがあったものの、主に給与及び業者支払いの減少にともない未払金が47百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ42百万円(0.9%)減少し、4,543百万円となりました。なお、当連結会計年度末の自己資本比率は、前期末の78.4%から79.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、本決算短信に記載の見通しは当社グループの現在の予測に基づくものであり、外部環境の不確実性や変化に左右されるため、様々な要因により実際の業績と大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,399,012	3,020,789
売掛金	1,005,137	999,050
貯蔵品	9,014	8,791
その他	176,729	230,476
貸倒引当金	△395	△423
流動資産合計	4,589,498	4,258,685
固定資産		
有形固定資産	331,911	330,680
無形固定資産		
のれん	137,950	130,700
その他	6,331	5,414
無形固定資産合計	144,282	136,115
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	519,417	517,751
その他	261,101	497,255
貸倒引当金	△278	△190
投資その他の資産合計	780,240	1,014,816
固定資産合計	1,256,434	1,481,611
資産合計	5,845,933	5,740,296
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	46,202	26,507
1年内返済予定の長期借入金	119,764	120,716
未払金	732,552	685,289
未払法人税等	23,674	32,989
賞与引当金	84,737	49,625
その他	101,067	160,180
流動負債合計	1,107,999	1,075,308
固定負債		
長期借入金	121,892	91,713
資産除去債務	14,742	14,801
その他	15,372	15,341
固定負債合計	152,007	121,855
負債合計	1,260,006	1,197,164
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	927,914	927,914
利益剰余金	3,734,870	3,692,440
自己株式	△177,568	△177,568
株主資本合計	4,585,216	4,542,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	710	345
その他の包括利益累計額合計	710	345
純資産合計	4,585,926	4,543,131
負債純資産合計	5,845,933	5,740,296

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,920,829	2,151,342
売上原価	1,456,549	1,669,513
売上総利益	464,280	481,829
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	95,012	94,077
賞与引当金繰入額	3,116	5,293
その他	211,102	280,967
販売費及び一般管理費合計	309,231	380,338
営業利益	155,049	101,490
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	3,289	25,471
受取地代家賃	10,637	10,656
助成金収入	1,071	—
その他	822	4,599
営業外収益合計	15,833	40,739
営業外費用		
支払利息	280	253
賃貸収入原価	4,657	4,641
その他	102	1,015
営業外費用合計	5,040	5,910
経常利益	165,842	136,319
特別利益		
負ののれん発生益	52,951	—
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	52,959	—
特別損失		
固定資産除却損	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	218,801	136,316
法人税、住民税及び事業税	33,192	38,207
法人税等調整額	23,504	10,119
法人税等合計	56,696	48,326
四半期純利益	162,105	87,989
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,105	87,989

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	162,105	87,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,024	△365
その他の包括利益合計	△1,024	△365
四半期包括利益	161,080	87,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,080	87,623



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。